

高齢者輝き表彰

仙北市では、明るい社会づくりの一環として、様々な分野で社会参加し、いきいきと活躍している65歳以上の方を表彰しています。
平成27年度の表彰者5人をご紹介します。



梁田 純一郎 さん
(77 歳 西木町西明寺)



渡辺 友康 さん
(66 歳 角館町西下夕野)

息がぴったりと合うお二人。ともに地域スポーツの振興と健康づくり活動に熱心に取り組まれ、平成2年より、きたうらアクアスポーツ少年団で水泳指導を始めました。また、大仙・仙北地区の小学校等の体育授業や一般人を対象としたヨガ教室、ウオーキング教室なども指導しています。

平成23年には、「地域における子どもの健全育成と生涯スポーツの振興に寄与する」ことを目的に、「NPO法人きたうらアクアスポーツクラブ」を設立。現在、梁田純一郎さんは、理事長を務めています。夏は水泳、冬はスキージの指導に励むなど、実年齢とのギャップに驚かされます。

お二人ともエネルギーに満ちあふれ、日々いきいきと活躍しています。



藤田 利孝 さん
(79 歳 角館町西勝楽町)

長年にわたり、地区の町内会長を務めたほか、角館まちづくり地域運営体の設立当時には副会長を務めました。

また、地域の繋がりや地域づくり、伝統行事の後継者育成にも尽力されています。

その熱心な姿に、地域住民から慕われ、日々、元気に活躍しています。



藤岡 トミ子 さん
(78 歳 田沢湖生保内)

七宝焼愛好会に長年所属し、材料調達から制作指導など、中心的な役割を担っているほか、茶道や俳句、婦人会にも参加しています。公民館の生活講座では講師として活躍し、常に人との繋がりに重点を置いて、こもりがちな高齢者の見守りや声かけをするなど、地域住民から厚い信頼を受けています。



佐々木 イデ さん
(76 歳 田沢湖梅沢)

30年ほど前より「漬け物名人久太郎」の商号で、漬け物づくり事業を興し、今では20種類を超える漬け物を作り、地元観光地や首都圏に出荷しています。10年ほど前、体調を崩し、身体が少し不自由になりましたが、今も強い意欲を持って働き続け、近所のお母さんたちの雇用の場として喜ばれています。

租税教育の感謝状贈呈



租税教育の推進に尽力

11月18日、角館中学校で租税教育に対する感謝状の贈呈式が行われました。

これは、大曲税務署が租税教育の推進等に積極的に取り組んだ学校や団体等を毎年表彰しているもので、今年度は角館中学校が選ばれました。

角館中学校では、長年にわたり、「税についての作文」の応募や租税教室を開催しているほか、平成26年度には、秋田県租税教育推進



大曲税務署の笠秀則署長（左）と角館中学校佐藤心一校長（右）

協議会より「租税教育推進協力校」として委嘱を受けるなど、積極的に租税教育に取り組んでいる功績が認められました。

税に関する習字を展示

秀逸作品がずらり並ぶ

仙北市納税貯蓄組合連合会で募集していた小学生の「税に関する習字」の作品展示が、タカヤナギワンダーモールで、11月5日から9日まで開催され、最優秀賞には、西宮理央さん（角館2年）の作品が選ばれました。他の受賞者は次のとおりです。（敬称略）

◇金賞 佐々木棟旺（西明寺2年）、佐々木祐奈（中川3年）、佐々木美祐（中川6年）◇銀賞 鈴木優（角館1年）、門脇結那（西明寺4年）、大波昇太郎（角館6年）◇銅賞 平田皇博（角館2年）、浅利菜羽（松木内4年）、古郡咲良（神代6年）



タカヤナギワンダーモールには、力強い作品がたくさん展示されました。

お白寿いの



おめでとうございます

12月1日に白寿を迎えられた千葉チエさんに、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



白寿を迎えられた千葉チエさん（前列左から2番目）。親戚の皆さんが集まりお祝いました。

佐々木昭雄さんに感謝状



明るい選挙の推進に尽力

仙北市選挙管理委員会の佐々木昭雄委員長（田沢湖生保内）に、11月3日、選挙関係功労者に対する感謝状が贈呈されました。

この感謝状は、選挙制度125周年の節目の年にあたり、総務省が「選挙管理委員会の委員として10年以上在職し、選挙の管理執行と選挙の啓発事務の功績が顕著である方」に贈ったものです。

佐々木委員長は、平成14年に田沢湖町選挙管理委員会の委員に就



11月26日、田沢湖庁舎に報告に訪れた佐々木委員長は、「皆さんのおかげで受賞できた。今後も公明、公正な選挙になるよう努めていきたい」と話しました。

任後、これまで13年にわたり在職しています。また、平成21年から委員長を務めるなど、重責を担い選挙事務に尽力してきました。

ふるさと秋田農林水産大賞



農業経営の発展に取り組む

11月20日、秋田市ビューホテルで「秋田県農林水産フォーラム」が開催され、ふるさと秋田農林水産大賞の「担い手部門（未来を切り拓く新規就農の部）」で、木村貴則・智恵子夫妻（角館町蘭田）が大賞を受賞しました。

木村夫妻は、非農家から平成23年に新規就農者へ転身。ネギ生産を始め、機械化による作業の効率化と規模拡大を図りました。

その後も、家族経営協定の締結

による夫婦間の役割分担や就業条件を明確化して、農業経営の発展に取り組んでいます。



担い手部門（未来を切り拓く新規就農の部）で大賞に輝いた木村貴則さん（中央）、智恵子さん（右）

第7回全国縄縄競技大会



自慢の腕前競い合う

11月23日、花葉館で「第7回全国縄縄競技大会」（平成縄縄塾主催）が開催されました。同日の「花葉館祭り」に併せて行われた今大会には市内外から個人戦に36人、団体戦に4組が出場し、長ききれいな縄を目指して磨き抜かれた腕前を競い合いました。平成縄縄塾の菅原誠晃塾長は「今後も全国大会として開催し、大会の名前を広めて地域の活性化に貢献していきたい」と今後の抱負を述べました。



懸命に縄を拘う参加者に、会場からは熱い声援が飛び交いました。

大会成績は次のとおり（敬称略）

◇個人戦 優勝 伊藤サダ子（由利本荘市） 20メートル20秒

◇団体戦 優勝 伊藤正一、伊藤スズエ（横手市）、伊藤サダ子（由利本荘市） 28メートル88秒

仙北市交通安全市民大会



無事故無違反を誓う

11月28日、平成27年度仙北市交通安全市民大会が角館樺細工伝承館で開催され、市内の交通安全関係者などが参加しました。

大会では始めに、交通安全功労者表彰が行われ、4個人1団体が表彰を受けました。引き続き、門脇市長が、「来年度は無事故無違反を達成し、良い年にしたい」とあいさつで誓いを述べました。

表彰者は次のとおり（敬称略）

【個人】浦山芳男（仙北地区交通安全協会）



角館消防署員の心肺蘇生に関する意見発表、市包括支援センターによる認知症についての講話、仙北警察署などによる交通安全実践指導が行われました。

安全協会田沢支部、松本健郎（同角館支部）、佐藤久洋（同西明寺支部）、藤岡トミ子（仙北市交通安全母の会）

【団体】田沢第一老人クラブ

市民の医療と健康を考える会



延ばすのは健康寿命

市民の医療と健康を考える会が、11月21日に仙北市民会館で開催されました。

今回は、秋田市のすずきクリニック院長の鈴木裕之先生を講師に迎え、日本笑い学会会員でもある鈴木先生が「南々亭骨太」の芸名で、病気の予防につながる生活習慣の大切さについて、わかりやすく講演しました。

健康寿命とは、健康上で特に問題なく日常生活が送れる期間のこと



日本笑い学会にも所属する南々亭氏。小話を織り交ぜた軽妙な講演で、会場が笑いに包まれました。

とで、南々亭氏は「健康寿命を延ばすためには、もちろん病気にならないこと。認知症やガンになりにくい生活習慣を身につけよう」と呼びかけました。

東北地区社会教育 委員連絡協議会表彰 門脇トキヨさん受賞

門脇トキヨさん（西木町桧木内）は、長年にわたり社会教育委員として、その豊富な知識と実践力でさまざまな地域の社会教育活動に積極的に取り組み、社会教育の振興と発展に貢献されたことが認められ、今回の受賞となりました。



東北地区社会教育委員連絡協議会表彰を受賞した門脇トキヨさん。

仙北市老人クラブ大会

11月13日、仙北市老人クラブ大会が角館交流センターで開催され、市内の老人クラブ会員など340人が参加しました。大会では、これまでの活動で功績のあったクラブや個人へ仙北市老人クラブ連合会会長表彰が行われたほか、大仙市の霊仙寺住



講演で「生きていることは楽しい、秋田はすばらしいと、子どもたちに伝えていくことが大事」と話す中村氏。

職・中村秀男氏が、心安らかな生き方について講演しました。

表彰者は次のとおり（敬称略）

◇老人クラブ育成功労者 田口治男（田沢湖）、星宮忠清（角館町）、小瀧功（田沢湖）、鈴木レイ（西木町）、羽崎勝宣（田沢湖）、浅利千慶（西木町）、佐藤喜五郎（角館町）、齋藤恭子（西木町）、黒澤亀雄（角館町）

◇優良老人クラブ 中生保内クラブ（田沢湖）、川崎クラブ（角館町）、武蔵野悠遊会（田沢湖）、寿楽老人クラブ（西木町）、荒町金勢寿会（田沢湖）、天寿老人クラブ（西木町）、東雲クラブ（角館町）、楽寿会老人クラブ（西木町）、西長野悠々会（角館町）

お菓子の実演試食会



本格的な「生どら」が完成

11月25日、角館保育園でお菓子の実演試食会が行われました。

これは、角館菓子工業組合（佐々木正昭組合長）が、毎年市内の老人施設や保育園等を慰問し、お菓子作り体験をしているものです。

この日は、組合から6社の企業が角館保育園を訪れ、園児たちと一緒に「生どら焼き」を作りました。専用の鉄板で皮から作り始める本格的な職人技に、園児たちは大興奮。ほどなく甘い香りが漂い、



完成したどら焼きを園児たちは美味しく食べました。佐々木組合長は「今後もこの活動を続けていきたい」と話していました。

美味しい生クリームとあんこのどら焼きが完成しました。

仙北市の史跡を探訪



古に思いを馳せる

11月21日、仙北市史跡めぐりが開催され、25人の参加者が古城山を歩いて、その特徴を学びました。

この催しは、仙北市教育委員会が主催するもので、昨年に続いて2回目となります。古城山は戦国大名戸沢氏の居城として自然の山に手を入れたもので、城山としての特徴をよく残しているのは、県内でも珍しいとのこと。

旧田沢湖町側から登り始めた参加者は、講師の大野憲司氏（元秋



参加者はゆっくりと古城山を散策しながら、歴史を学ぶよい機会になりました。

田県文化財保護室長）の解説を聞きながら、古の時代に思いを馳せていました。